

日南町長コメント

この度、日南町は、町民の約3割の働き盛りの年代が加入する全国健康保険協会（協会けんぽ）鳥取支部と「健康づくりに関する包括連携協定」を締結しました。

本町は、高齢化率46.6%（平成26年12月31日現在、住民基本台帳より）と県下で最も高く、全国に先駆けること約30年の早さで高齢化が進んでいます。このような中、誰もがいつまでも住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるよう、介護予防や医療・福祉の推進を図っています。年を重ねても元気に過ごすため、働き盛りの若い年代からの健康づくりがより一層重要となっています。

本町では、75歳未満のがんによる死亡が多い状況にあり、特に男性のがんによる死亡が多くなっています。また、高血圧で治療中の方も多く、医療費においても循環器系疾患が占める割合が大きい状況です。

この連携により、日南町国民健康保険・後期高齢者医療、協会けんぽを合わせた町民の約8割のデータの分析から、より地域の健康課題を明確化させ、課題解決に向けた事業の展開、そして将来的には医療費の削減という効果が期待できます。協会けんぽとの協同の取り組みにより職域へのアプローチがしやすくなり、働き盛りの年代への健康づくりを効果的に行うことで、元気な高齢期を迎えることにつながります。

協会けんぽ鳥取支部と手を取り合って健康づくりを推進し、町民の皆様がにこにこ健康で暮らせる町づくりをすすめていきたいと考えています。



日南町長
増原 聡

